

FREE

ご自由にお持ちください。

No.849  
2024 June

6

岐阜県の森林・林業

も り  
森林のたより



News of the forest



白山白川郷ホワイトロード  
(白川郷展望台)



山岳を駆け抜ける絶景ルート

●詳細は3ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。



山内 登

(公益)岐阜県山林協会会長

初夏の候 皆様にはますます清  
祥のこととお慶び申し上げます。

この度、(公益)岐阜県山林協会会  
長を命じられました 山内登 でござ  
います。昭和24年林野庁の設置と同  
年に設立され、平成、令和と3つの時  
代にわたり本県の森林、林業の発展  
に多大な貢献をされた歴史ある組織  
の会長として選任いただき、光栄に  
存じますと共に、その責任の重さに  
身の締まる思いであります。もとよ  
り微力ではございますが、この上は  
会員、役職員の皆様のご理解とご協  
力を賜りながら、本協会の発展に誠  
心誠意取り組んでまいれる所存でござ  
いますので、何卒よろしく願いま  
します。なお、遅れましたが日置前会長  
には十年間という長きにわたり大任  
を務められ、その功績は多大であ  
り、ご尽力に深く感謝と敬意を申し  
上げます。

さて、ご承知のとおり岐阜県は森  
林率全国第2位、81%を誇る全国屈  
指の森林県で、この森林は木材の生  
産はもとより、美味しい水や空気、  
癒しの場の提供など数多くの恵みを  
与えてくれます。こうした恵みを  
100年先、200年先にも引き継  
いでいくためには、森林づくりを県  
民全体で支えるという意識を醸成す  
ることが大切であり、今後も次世代  
を担う子供たちへの普及啓発や人材  
育成活動に積極的に取り組み、一人  
でも多くの方に行動を起していただ  
きたいと考えております。

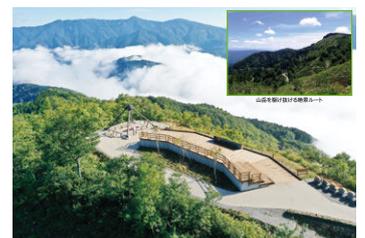
一方で、昨今全国各地で集中豪雨  
等による自然災害が頻発化、激甚化  
しており、森林が持つ山地防災力の  
さらなる強化は「県民の安全・安心の  
確保」の柱であるといつても過言で  
はありません。このことを念頭に今  
後も国や県に対し、予算の確保や制

度の充実などの要請に努め、防災・減  
災対策を目的とした治山事業や間伐  
等の森林整備事業の推進に寄与して  
まいりたいと考えております。

幸い当協会は「山の無い市町」を  
含む42すべての市町村に会員となっ  
ていただいております。また、岐阜県  
は全国で3県しかない林政の専門部  
が設置されており、大変心強く感じ  
ております。今後も「オール岐阜」で  
関係者と一丸となって取り組んでま  
いりますので、会員の皆様はもとよ  
り、国、県、並びに関係団体の皆様方  
には、どうか本協会の事業活動にご  
理解をいただき、一層のご指導ご鞭  
撻を賜りますことをお願い申し上げ  
まして、就任のご挨拶とさせていただきます。

退任されました前会長の日置  
敏明様は平成20年に理事に就任  
され、24年には副会長、26年から  
会長を務められ、通算16年間当協  
会の発展にご尽力をいただきました  
謝を申し上げます。

(事務局)



表紙 ● 白山白川郷ホワイトロードは岐阜県と石川県を結ぶ全長  
33.3km、標高500m-1450m、市員6.5mの完全舗装され  
た有料道路です。写真の「白川郷展望台」では360度の雄  
大なパノラマが広がり、白山や三方岩岳が遠望できます。

目次 Contents

新会長あいさつ ..... 2  
「白山白川郷ホワイトロード」6月14日開通予定 ..... 3  
イベントカレンダー(一般向け) ..... 3  
主伐・再造林に向けた新たな取組〜郡上森林林業循環基金の創設〜 ..... 4  
水源林見学会参加者募集 ..... 5  
わが社の頑張るフレッシュヤーズ ..... 5  
令和6年度 山地災害防止キャンペーン ..... 6  
治山・林道技術成果 ..... 7  
交流派遣を終えて ..... 8  
山の歳時記 226 アオダモ ..... 10  
山のおじさま(395) ..... 11  
ぎふ木遊館通信 ..... 12  
morinos プログラム紹介!! ..... 13  
シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(2) ..... 14  
森林と人を活かす知恵(137)「豊かな森」って、どんな森? ..... 15  
木の香るぎふの施設(135) 大垣市立ひまわり学園 ..... 16  
研究コーナー シイタケ発生への気温上昇の影響を理解して ..... 17  
栽培管理に役立てる ..... 18  
普及コーナー 飛騨市特定間伐等促進計画の策定について ..... 18  
スマート林業通信(41) ..... 19  
国有林の現場から(92) ..... 20  
温帯域の高標高におけるコウヨウザンの成長速度と ..... 21  
生育適地の把握について ..... 21  
林業者向けお知らせ ..... 22  
市況 ..... 20

# 「白山白川郷ホワイトロード」6月14日開通予定

岐阜県白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」は、6月14日に開通する予定です。

白山の新緑と薫風を車窓から楽しめるほか、白川郷展望台駐車場で下車して「白川郷展望台」からの眺望を楽しみ、「ブナのごみち」を散策したり(約30分)、県境近くの三方岩駐車場からは三方岩岳への登山(片道50分)にチャレンジしたりすることもできます。

「白川郷展望台」は駐車場から車椅子で行くことができ、バリアフリートイレも完備しています。

詳しい情報は、白山林道岐阜管理事務所へお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。



※新緑のホワイトロード



※白川郷展望台

## 通行料金

軽自動車 1,400円  
普通自動車 1,700円



## 電話でのお問い合わせ先

白山林道岐阜管理事務所  
TEL/FAX 05769-6-1664  
<https://hs-whiteroad.jp/>



【森林保全課 水源林保全係】

## 森林・林業関係イベントカレンダー(7月)

一般向け

開催日	行事名等	内容等	場所 申込(問合せ)先/TEL
7月4日(木)	狩猟免許試験 (網猟、第一種銃猟、 第二種銃猟)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 狩猟免許取得のための試験を実施します。</li> <li>● 時間：9：30～17：00</li> <li>● 申込：6/6～6/20</li> </ul> ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨・世界生活文化センター  各地域を所管する県事務所等、または 環境生活政策課 TEL:058-272-8231
7月12日(金)	令和6年度 岐阜県森林研究所 「研究成果発表会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容：岐阜県森林研究所で取り組んでいる森林管理や森林資源の活用に関する研究内容を紹介します。</li> <li>● 時間：13：15～16：15(受付12：45～)</li> <li>● 参加料：無料</li> <li>● 事前申込：6月中旬頃から当所ホームページにてお知らせします。</li> </ul>	わかくさ・プラザ 多目的ホール (岐阜県関市若草通2丁目1番地)  岐阜県森林研究所 (岐阜県美濃市首代1128-1) TEL：0575-33-2585

# 主伐・再造林に向けた新たな取組 ～郡上森林・林業循環基金の創設～

郡上森林事務所 林業課

## 設立までの経緯

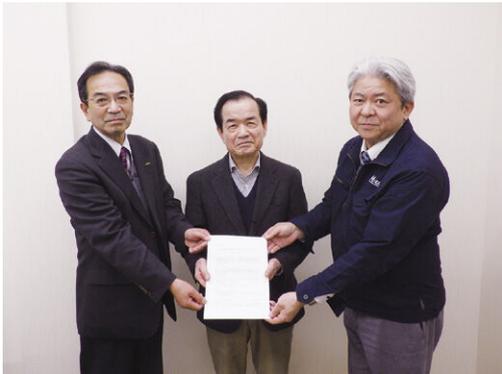
平成二七年、郡上市白鳥町において「長良川木材事業協同組合」が年間製材量10万m<sup>3</sup>を目標に操業開始しました。操業に伴い、長良川木材事業協同組合への原木供給を行うため、郡上市内では、主伐(皆伐)事業が徐々に拡大してきました。また、最近では、県内外で木質バイオマス発電施設の稼働により、原木の需要が高まっています。一方で、皆伐により発生した枝葉、



林地残材放置状況

端コロ(建築用材などで出荷できない短材)などが林内に放置(写真参照)され、再造林のための地拵え作業に多大な手間がかかることが、再造林を進めるうえでの課題となっています。

このため、造林事業者が行う地拵え作業の労力を緩和し、効率的な再造林を進めることを目的に、郡上市内の素材生産事業者、製材事業者等が基金を積み立て、伐採事業者に補助する仕組み(郡上森林・林業循環基金)を新たに創設しました。



郡上森林・林業循環基金運営委員

令和六年三月二二日に郡上森林・林業循環基金運営委員会を設立し、基金事業実施に関する協定を締結しました。

## 郡上森林・林業循環基金

### 【組織(事務局)】

- 郡上森林・林業循環基金運営委員会
- 会長・長良川木材事業協同組合
- オブザーバー
- 岐阜県郡上農林事務所
- 郡上市林務課
- (事務局) 郡上森林マネジメント協議会

### 【基金概要】

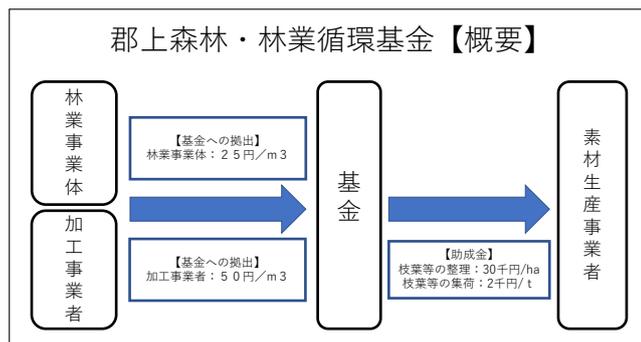
- 目的・脱炭素社会の実現に向けて、森林の循環並びに木材資源の有効活用を積極的に行うため、森林の若返りに資する。
- 基金事業

林業事業者・木材加工事業者が前年度の取扱量を基準に基金へ拠出。素材生産事業者に対して、林内の整理、枝葉・端コロなどの集荷の経費に対して、基金を活用し助成。

### 今後の取組

令和六年度からは、郡上森林・林業循環基金運営委員会、郡上農林事務所、郡上市が協力して、官民一体となり、

「郡上森林・林業循環基金」の趣旨を理解していただける協力事業者を増やしていきたいと考えています。



### おわりに

郡上森林・林業循環基金が効果的に運用され、森林・林業・木材産業に携わる者全員が協力することにより、郡上市内の森林資源が有効に活用され、森林施業の良き循環につながることで、『健全で豊かな森林の造成』に寄与していくことを期待しています。

●詳しい内容を知りたい方は

郡上森林マネジメント協議会

TEL 0575-167-19533

若しくは郡上農林事務所林業課

TEL 0575-167-1111(内線230)まで

# ＊ 水源林見学会参加者募集 ＊

参加者から毎回大好評をいただいている「水源林見学会」が開催されます。

この見学会は、公益社団法人木曾三川水源造成公社\*主催によるもので、木曾三川(木曾川、長良川及び揖斐川)流域の愛知、岐阜、三重にお住まいの方を対象として、水源となる森林の大切さを理解していただくための森の健康診断と山仕事体験(間伐)をしていただくイベントとなっております。

夏の思い出づくりにぜひご参加ください。

- 【開催日】 令和6年8月3日(土)
- 【場所】 岐阜県中津川市の水源林
- 【日程】 8時: JR岐阜駅中央北口に各自集合、貸切バスで現地へ移動  
10時~15時: 現地での体験イベント  
17時頃: JR岐阜駅に到着・解散予定
- 【参加対象】 愛知、岐阜、三重県内にお住まいの小学生とその保護者(保護者同伴。40名程度)  
※応募者多数の場合は抽選とし、応募者全員に抽選結果を通知いたします。
- 【活動内容】 森の健康診断、山仕事体験(間伐)  
・生えている木を実際に伐っていただきます。  
・雨天の場合は、木工教室に変更予定です。  
・作業ができる服装でご参加ください。  
・熱中症対策のため、タオル、飲料水等をご持参ください。
- 【参加費】 無料(昼食提供あり)
- 【応募方法】 はがき又はEメールに住所、参加者全員の氏名、ふりがな、年齢、生年月日、性別、電話番号を明記のうえ応募  
台風の接近等状況によって中止等ありますことをご承知願います。
- 【応募期間】 7月19日(金)必着



お申込み、お問合わせは、公益社団法人木曾三川水源造成公社までお願いします。

【住所】 〒501-3756 美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎5階 【電話番号】 0575-33-4011(内線408) 担当:北村

【ホームページ】 <http://www.kiso3sen.org/> 【Eメール】 [desk@kiso3sen.org](mailto:desk@kiso3sen.org)

\*木曾三川水源造成公社とは岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市が出資して設立された公益社団法人です

【森林保全課 水源林保全係】

## わが社の頑張るフレッシュヤーズ

【株式会社立保(東白川村)】 安江 琢真  
2023入社 (東白川村出身)



(左) 安江代表取締役 (右) 安江琢真さん

### 【林業への就業のきっかけ】

小さなころから自然と触れ合い、将来はこの自然を守るようになりたいと思っていました。中学卒業後から地元を離れていたため、外からみた東白川村の自然の素晴らしさを再度実感し、その自然を守りたいと思い林業に就業しました。

### 【林業に就業しての感想】

(仕事で楽しいこと)  
自身の成長が目に見えてくることです。林業の仕事は常に結果が出てきます。伐採作業が上手にできたとき、造材した材の平均単価が高かった時、ワイヤーが編めるようになったときなど成長を感じることができるときがたくさんあります。その時がモチベーションも上がり、楽しいなと思う瞬間です。

### 【仕事の辛苦】

毎日筋肉痛になりそうなくらい活動

量が多いことです。とにかくよく歩いて動くので大変ですが、そのかわりに帰って食べるご飯とお風呂は格別です。

### 【自信が付いてきた仕事は?】

伐倒と造材に少しずつ自信がついてきました。一年間作業して、自分の頭の中で倒した時のイメージと材の単価を理解しながら作業できるようになってきました。

### 【今後の抱負】

今はまだ「いい山づくり」とは何かがはっきりわかりません。それでも自分が作業することはその山を変えてしまふことを覚悟しながら、これから答えを出せたらいいなと考えています。

### 【今後の抱負(夢など)】

「琢真に山を作ってもらおう!」琢真に木を切ってもらいたい」といわれるような山師になりたいです。そのためにも自身の技術向上に励みたいと思います。

### 【代表者からのエール】

若手担い手が少ない中これからの日本を支えるため社会貢献をしながら業界発展に努めて頂きたいです。

### 【新たに林業を志す人へ会社のメッセージ(会社PR)】

日本の就労者数が圧倒的に少ない業界です。だからこそ、やりがいと林業でしか経験できない世界があります。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-33-4011

「森のシンフォニー」まで

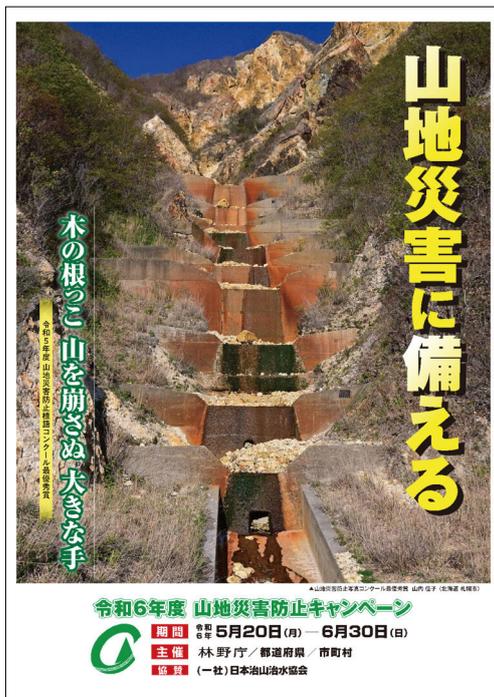


# 令和6年度 山地災害防止キャンペーン

近年、集中豪雨による山地災害が全国各地で発生し、社会活動に甚大な影響を及ぼしています。岐阜県でも昨年8月の台風7号災害により、西濃地域を中心に山地災害が発生し、現在も災害復旧対策に取り組んでいます。こうした状況から、県民の皆さんに山地災害に対する防災意識を高めてもらうため、林野庁、県及び市町村では、令和6年5月20日（月）から6月30日（日）にかけて「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中は、県や市町村の公共施設にポスターを掲示し、山地災害への備えを呼びかけるとともに市町村の広報誌に関連記事を掲載しています。

また、キャンペーン関連行事の一環として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されますので、たくさんの応募をお願いします。



令和6年度キャンペーンポスター



令和5年山地災害発生状況(揖斐川町)



【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

(一社) 日本治山治水協会 標語・写真コンクール係  
TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8496 森林保全課治山係まで

## 治山・林道技術成果

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究等の取り組みを行っています。令和6年2月に行われた発表会で発表された取り組み成果を紹介します。

## 表層崩壊抑止機能を有する客土注入マット工法の施工報告について

岐阜・西濃・揖斐ワーキンググループ 発表者 矢次琢也

(ワーキンググループメンバー) 小山凌平、山中彩加、白川拓巳、

橋本真一、高橋悠太郎

### 背景課題

近年頻発する豪雨などに起因して、斜面の崩壊が多く発生しています。洗堀や表層崩壊など比較的崩壊深の浅い箇所での対策工としては、簡易吹付の砕工が広く用いられています。

簡易吹付のり砕工は、施工性及び地山との密着性に優れていますが、降雨等により基盤材が流出する可能性や、吹付砕やラスの影響で木本類が生育しにくい傾向にあります。今回これらの課題の解消を期待して表層崩壊抑止機能を有する客土注入マット工法の調査を実施しました。

### 施工方法

本工法は、最初に法面清掃を行い、アンカーを途中まで打設します。その後マットを敷設しながら、アンカーを地山まで打設します。最後に基盤材や種子などを混合した客土を注入して完了となります。(図1)

### 特徴

本工法は、斜面にマットを固定してから客土を注入するため、斜面の凹凸を包み込むように密着し、崩壊の誘因となる水の浸透を抑制できます。さらに、斜面と密着することでマットの自重により円弧すべりを抑え、深さ30cm程度までの崩壊を抑止しながら長期的に安定した植生基盤を造成できます。また、木本類の肥大生長をマットが

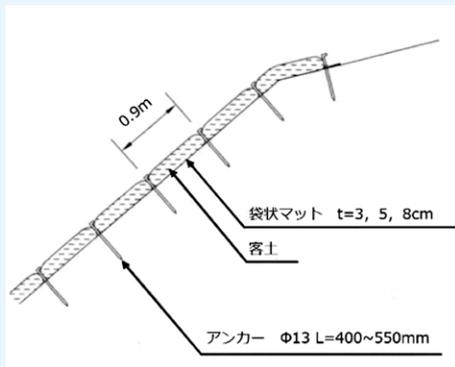


図1 標準断面図

阻害することがなく、木本類による緑化と併用できます。

### 施工実績および結果

岐阜県の治山事業では、県内2箇所では本工法を施工しています。いずれも施工後の状況を調査しました。

1箇所目は揖斐郡揖斐川町春日美東地内で、溪岸侵食の影響により山脚が流亡し、山腹斜面が崩壊しました。土質は花崗岩帯のマサ土で、斜面勾配は6分、幅約20m、斜長約20mが崩壊しました。

現在、再崩壊や侵食は進行せず安定した状態を保っていました。(図2)現場でシカのフンが確認されましたが、製品の破れや客土の流出は発生していません。



図2 約2年半経過後(R5年11月)の状況(揖斐川町)

ませんでした。しかし、施工地の大部分はコケ類が生育し、草本類は発芽後に枯死している状況でした。これは、施工後の降雨や日照の影響で水分状況が悪かったことが原因と推測しています。

2箇所目は恵那市上矢作町地内で林道の路肩が崩壊しました。土質は花崗岩帯のマサ土で、斜面勾配は5分、幅約10m、斜長約30mが崩壊しました。

現在、草本類等の植生は確認できず施工地の全面がコケ類に覆われています。斜面下部で植生シート工も施工していましたが同様に植生が定着せず、一部背面土の流出が確認されました。一方、本工法の施工地は背面土の流出や侵食などがなく、安定した状態を保っていました。

### まとめ

今回調査した2箇所とも土質の脆弱な箇所でしたが、施工から約2年半が経過しても安定した状態を保っており、崩壊抑止機能の有効性を確認できました。今回調査した箇所でも木本類が生育するには、今後自然緑化を期待することとなるため、これからも経過観察を続けたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-2721-8526

森林保全課 治山係まで

## 住民目線での仕事

今井 琢磨

(派遣先 揖斐川町産業建設部)

組織の中では、誰もがその組織でのやり方に馴染んでいきます。10年、20年と経験を重ねれば、それはメンバー間の「常識」として固定化されるでしょう。もちろんそれは大事なことであり、円滑で正確な業績は、そういった信頼関係の中で築き上げられるものだとも私も理解しているつもりです。でも、違う視点でものを見ると…？

揖斐川町への出向の内示を受けたときは、使い古された表現ですが、不安と期待が半々でした。通常の定期異動でも不安を感じますが、別組織へ加わることの不安は3割増くらいに感じました。一方で、この年齢になっても「期待」の気持ちも持てるのは、まだ自分の中にも少しは好奇心が残されている証拠だと思いますが…。

郷に入っては郷に従うのが鉄則でしょう。着任してすぐ感じたのは、住民(県職員にとつての「県民」と同義)の方との近さです。役場の窓口には、毎日次々とお客さんがいらつしゃいます。中には怒っている方も。役場職員の方は、緩急とりませてテキパキ対応しています。スピード感は、想像していたよりもずっと早いです(失礼ですみません)。ものごと(事案)が、次々と完了していきます。

県職員根性(?)がなかなか抜けない、自分の無力さを思い知る日々です。もつと役に立て！何かの漫画のセリフではないですが、自分に言い聞かせる毎日でした。少しは役に立って！と。少しは役に立っていましたか？

仕事的内容的には、県林政部からの出向者ですので、もつと地域の森林づくりに寄与する取り組みに関わられたらよかったですな、という反省があります。揖斐川町の森林をもつと見て回りました。森林組合さんとももつとお話したかった。とはいえ、県も市町村も、職員が少なく業務が多いのは一緒ですので、なかなか理想どおりにはいかないのだと思っています。

2年間を通じて、住民の方は必ずしも「林政」「農政」などで明確に分けて役場(行政機関)を訪れるわけではないと学んだように感じています。「○」について何とかならんか?」そんな、目の前にある仕事、やるべき何かに常に対峙し、取り組んでいるのが、市町村役場の職員さんなのではないでしょうか、私なりの理解です。これこそが、「住民目線での仕事」なのではないでしょうか。

最後になりますが、私を2年間、メンバーに加えてくれた揖斐川町役場の皆さん、ほんとうにありがとうございました。

## 下呂市職員としての勤めを終え

小木曾 謙治

(派遣先 下呂市農林部)

令和4年4月から2年間、下呂市役所にて農林部理事として勤めました。92%を森林が占め、そのうちの約6割が人工林という、まさに森林・林業先進地での勤務です。それまでの10年以上は県庁勤務が中心で、市町村行政との接点がありません。また、「理事」という市役所内で一人だけの役職で、前任者もいないことから、大きな不安を抱えての始まりでした。

ある程度は想定していましたが、実際に勤務してみると県庁と比べ一人の職員が抱える業務の種類が圧倒的に多く、関係団体や森林所有者との調整も頻繁にあることから、その分、一人ひとりの責任が大きく、仕事への主体性と熱意、そしてスピード感を強く感じられました。印象としては、県の業務の進め方と比べ、完成度は8割、スピードは2倍といった感じでした。

私に与えられた主な任務は実質的な林務部長として、市の森林・林業政策の方針策定と森林環境譲与税の有効活用、森林経営管理制度の推進でしたが、職員の多大な努力のおかげで、概ね任務を全うすることができたと感じています。

加えて、派遣職員として、常に「県と市の架け橋」としての役割を意識していました。県と市双方の立場を理解し、円滑な情報伝達と連携に努めるとともに、派遣職員という立場だからこそ、客観的な視点から問題点を指摘し、改善提案を行うこともできました。

また、森林・林業分野だけでなく、幹部職員として市の総合計画の改定に関わるなど、市が抱える様々な課題とも向き合ってきました。特に大きな問題は、急激に進む人口減少です。具体的には、2050年の下呂市の推計人口を2020年時点と比較すると、ほぼ半分の約1万5千人にまで減少し、その減少率は県内21市の中で最も高い状況です(県全体は約26%減少)。こうした将来を見据えると、あらゆる分野で人材不足が常態化し、更には、税収もより厳しくなることから、従来の行政サービスを維持できない姿が想像できます。これまでは、右肩上がりを目指す、もしくは下がることの緩和を念頭においていた施策が中心だったと思いますが、今後は、人口減少、行政サービス縮小を前提とし、また、森林・林業以外の様々な分野を俯瞰した施策も必要不可欠であると痛感しました。

市役所での経験は、私にとってかけがえのない財産となりました。今後は、この経験を活かし、各地域が抱える課題解決に向け、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

### 派遣を終えて

亀井康平

(派遣先 揖斐農林事務所)

2年間の派遣期間が終わりますが、農林事務所へ派遣されることを知った時は、いままで一度も派遣されていなかった部署ということもあり不安ばかりでした。

課では森林土木工事の担当となりましたが、農林関係の課に所属していたことはあっても、工事監督、設計・積算といった業務に関しては、ほとんど経験がありませんでした。

言葉やシステムなど分からないことが多く、自分よりも知識がある業者の方々との打合せでは、いつも上司に頼ってばかりでしたが、専門的知識をもった方と仕事ができる、とてもいい経験をさせていただきました。

その森林土木は山間地での仕事が多く、直接目にする機会はありませんでしたが、山からの土砂流出の防止や山地崩壊の防止、荒廃森林の整備などを実施しており、山の中に道を作っていく林道工事であれば、重要な資源である森林の整備や木材搬出時の利用、災害時の緊急迂回路などにも利用されます。

実際にこれらを利用することは、あまりないかもしれませんが、どちらも近年の異常気象による災害が頻発している中で、重要な役割を担うものだと思います。

上司の方は何十年とその業務に携わっており、その知識量にいつも驚きとともに、自分の考えの浅さを痛感していました。目の前の事象だけではなく、周辺への影響や今後の課題など、今までの経験や知識からくる考え方や回答は、本当に懂れるものでした。

ただ、専門職ではない市町村職員は、異動毎に工事、事務関係なく配属されるため、知識の蓄積が難しいかもしれません。それでも、今回の派遣で知識の重要性と身に付ける難しさを改めて感じました。業者からの提案すべてを鵜呑みにするのはなく、必要性や経済性はもちろん、税金を利用する公共事業であるということを根本において仕事をすること。これは、今回経験した森林土木だけでなく、その他の業務でもこの考えを生かすことができるかと思っています。

工事などの専門的な分野を経験しながら、他の分野でも生かすことができる事を学べたことは、とても幸いでした。

最後になりましたが、林業課をはじめ農林事務所の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。町へ戻りましてもお世話になることが多々あるかと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

### 県への出向を終えて

黒木拓也

(派遣先 県林政部森林経営課)

令和4年度から2年間、下呂市から県へ出向させていただきました。過去に市で4年間林務関係部署で働いた経験があり、出向が決まった時は何とかなるだろうと安易に考えていました。しかし、いざ県で働きたすと、市で慣れ親しんだやり方と何から何まで違い、メールを一通送るのでもさへ最初はひと苦労。(笑) 新採職員に戻ったような感覚でした。

県では森林経営課担い手企画係に配属となり、「林業の担い手確保・育成・定着」と「林業労働安全」に関する業務を2年間担当しました。

着任後最初に、本県における林業の現場で働く森林技術者が近年は、930人前後と10年前に比べ約200人も減少しているという実情を知り、減っていることは何となく知っていましたが予想以上だったため、大変驚きました。

具体的に携わった業務は県内の農林高校生への林業の普及活動やインターシップの支援、森林文化アカデミーの学生に対する林業就業への支援等、技術者の減少といった課題の解決に直結する業務で、やりがいを感じながら取り組ませていただきました。

中でも林業労働安全に向けた「岐阜県伐木安全技術評価会」に関する業務は、一番思い出に残っています。県内の技術者の方々々が各競技で安全なチェーンソーの技術を競う評価会で、全国大会さらには世界大会もあり、その岐阜県版の大会です。評価会に向け約2ヶ月間の準備や、多くの職員関係者に協力いただいたこともあり、当日の運営管理も大変でした。

しかし、普段違う会社で働く技術者同士の交流する機会を創れたこと、また私自身協力いただいた多くの方と関わり繋がりを持つたことは、この業務に携われて本当に良かったと感じています。他にも挙げればキリがないですが、本当に多くの経験をさせていただきました。

出向の経験で得た知識や人との繋がりを大事にし、県林政部の皆さまと、岐阜県下呂市の森林・林業の発展に貢献できるよう尽力していきます。

また、少し余談ですが出向期間中がちょうど県庁舎が移転するタイミングと重なり、旧庁舎の終わりと新庁舎の始まりを経験し、県職員でもあまり経験できない貴重な経験ができました。今後話のネタとして色んな場で自慢したいと思います。

最後に、県森林経営課をはじめ、業務で関わりました林政部職員の皆様には大変お世話になりました。貴重な経験ができ、何より楽しい2年間を過ごすことができましたのは皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

今後とも引き続きよろしくお願いたします。



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

高山市荘川沿いを走る国道158号線から川岸を見ると、アオダモが白い花を咲かせていました。

モクセイ科トネリコ属のアオダモ (*Fraxinus lanuginosa f. serrata*) は、別名コバノトネリコ、アオダコとも呼ばれる落葉高木です。

図鑑にはケアオダモの変種と記され、葉裏の葉脈や葉柄に毛が無いものがアオダモとされますが、

木材としてはほとんど区別なく扱われています。

アオダモの「アオ」は2年生以上の枝を切つて水に入れると、殺菌性の強いクマリン配糖体のエスクリン (*esculin*) 等が水に溶け出し、青(藍)色に蛍光発色するからです。長野県小諸市などでは昔は「あいの木」と呼んで、樹皮や小枝を叩きつぶして藍色の染料を採り、アイヌ民族は入れ墨染料と消毒を兼ねて利用しました。

「タモ」の語源は様々あり、北陸地方で水田の畦の稲架木(はさぎ)として多く植えたことから「田面(たも)」に由来するとか。材の粘りが極めて強くて大きikutawむ「たわむ木」から転化したとも言われます。

別名のコバノトネリコの「トネリコ」は、樹皮の煮汁等を加えて墨を摺ると墨色が美しく蛍光を発するため共練濃(ともねりこ)が転化したとか。幹や枝につくイボタカイガラムシ (*Ericerus pela*) の分泌した蠟物質を敷居

に塗って引き戸の滑りを良くした戸塗木または戸練り粉が転化したとも言われます。

葉は鋸歯がある小葉を奇数羽状複葉させ、枝に対生します。多くの図鑑には雌雄異株と記されていますが、実際には雄の花だけ咲かせる雄株と両性花を咲かせる株とがあり、今の時期なら枝先や葉腋から出た白い円錐花序が目立つため、容易に見つけることができます。

アオダモの樹皮は灰褐色(暗灰色)で、漢方で秦皮(しんぴ)と呼ばれ、下痢止め、解熱、洗眼剤に利用しました。漢時代に記された中国最古の本草書『神農本草経』には、「眼の中の青翳白膜(白内障など)を除く」とあり、また十六世紀に李時珍が記した『本草綱目』には、「目を明にし、目の赤腫、疼痛、涙の止まらぬものを去る」と、眼薬としての薬効が記されています。

材は床柱や木槌等の器具類



白い円錐花序が目立つアオダモ

の他に薪に用いられ、生でもよく燃えるため猟師は「山の神の松明」と呼びました。

アオダモの仲間には縦に割りやすく、粘りがあり狂いも少ないため、スキー板や野球バットに重宝され、特に硬式野球にはアオダモ、軟式野球にはヤチダモが良いとされます。



# 山のおじゃまむし



一天は二物を与えず、横綱曙太郎【第395回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

私は子供のころから大相撲が好きだった。というよりこれしか無かったのである。69連勝した双葉山。東富士、鏡里、千代の山、栃錦、若乃花などの顔が目浮かぶ。しかし大相撲は国技なのですべて日本人。外国人の力士なんて思いもなかった。それがある頃から外国人力士が出てきた。体が大きい。それに馬力があるので力でねじ伏せていく感じだった。高見山、小錦、武蔵丸、曙などは今でも覚えている。それがどの力士も出身地はハワイであった。このままではハワイの力士が増えていくだろう。面白くない反面楽しみでもあった。中でも曙の強さはずば抜けていた。身長2m、体重200kgの巨体から長い腕を活かした突き押し相撲は強烈で、これで64代の横綱になった。その時の土俵入りは迫力があった。土俵が小さく見えた。それに曙と言えば思い出されるのは、若貴兄弟（若乃花、貴乃花）との闘いであった。しかし、巨体に太刀打ちできなかった。日本人は若貴兄弟を応援したものの、歯が立たない感じだった。ところが曙もこの大きな体で、膝が悪くなり相撲がとれなくなって引退。このあといろいろあったがプロレスラーになった。そのうちに私自身も曙のことは頭から消えていった。

× × × ×

4月中旬このシリーズの原稿を書いていたら、元横綱曙が亡くなったとの報道があった。すっかり忘れていたこの名前。当時の姿が思いだされた。それが故人となって。きびしい現実だった。そこで急遽曙を偲んで原稿を書くことにした。葬儀は4月14日に行われた。テレビでは昔の曙を映し出していた。豪快で強い曙であった。しかしある医師は31歳でこの体。まるで老人ではないか。節制しなければ長生きできないだろうと言っていた。それが本当だったから悲しい言葉だった。曙はプロレスラーとしても活躍した。その映像や家族の写真も映し出されていた。葬儀には大相撲、プロレス界などから私の知っている人が多くお参りしていた。考えれば曙は巨体を武器に活躍したものの、これで寿命を縮めたのだから皮肉なものだと思う。そういえば当時の人気力士の若貴兄弟の貴乃花がお参りしていなかった。なぜかと思っているうちに、巨体にねじ伏せられ無残な負け方をしたからではないか、そんな気がした。そう言えばこのころの外国人力士はハワイ出身者ばかりだった。それが昭和から平成時代になると、いろいろな国の力士が誕生し、3人に1人は外国人だったらしい。大相撲も変わったものと思った。それに外国人の中には何人も強い力士が



いた。白鵬、朝青龍、日馬富士などすぐ目に浮かぶ。この中で特に強かったのはモンゴル出身の白鵬。これは誰もが認めるであろう。しかし、勝つためには手段を選ばなかった。私は好きになれなかった。

× × × ×

この原稿を書いていたら昭和時代の日本人力士の相撲が懐かしくなった。体は小さくても動きが速く、いろいろな技が出てくる。そのうちに今の力士と相撲をとらせたらどんな勝負になるのか、いろいろ考えたが、私の判定は曙が勝ち残った。強い力士は曙。これが私の結論であった。話は変わるが、テレビ放送で解説者としてわかりやすい説明をしている北の富士氏が何場所も休み。体調が悪いようなので早く元気になってほしい。彼は現役時代からドライな力士と言われた。レコードを出したり、人前で歌ったりした。それに相撲が早い。あっという間に勝負がつく。当時、ライバルだった輪島、琴桜、北の湖関などの熱戦。もう一度見てみたいものだ。私は80歳で免許を返納したので、それ以降採集には出かけていない。しかし採った標本の記録はパソコンに残っているので、これを整理している。総数は25000匹くらい。これをまとめてこの山のおじゃまむしの原稿にしたいと考えている。

× × × ×

ところが若いころはすぐに書き始めたが、今はなかなかその気になれない。私の昆虫採集は80歳で卒業したので、虫とは縁を切ると決めたからである。しかし、パソコンの採集記録を見ていると、昔のことが目浮かんでくる。特に高山の林業試験場にいたころの記録。新種を見つけて私の名前がついた虫、日本で4匹しか採れていない貴重種などは今でも標本箱の中にある。しかし、これをどうするか。すぐにこの問題に突き当たる。貴重種だけなら引き取るという人もいるが、私はそんな気にならないので、しばらくこの状態が続くだろう。曙が亡くなって1か月になる。テレビでは家族のことなどを映していた。彼は「いずれ日本人」になると口にし、家族には「日本人のように礼儀正しい人間になれ」とも言っていたという。そして嬉しかったのは長野オリンピックで土俵入りが披露できたこと。これは自慢話だといつも口にしてきたという。曙に死期が近づくと家族のこともわからなくなり、眠るように天国へむかったという。大きな体を武器に横綱まで駆け上がった曙。しかし、これが仇となった。「天は二物を与えず」この言葉が浮かんできた。テレビでは昔の曙の姿を映していた。大きな体で相手を倒していく姿。強い。今までの力士の中で強かったのはやはり「曙」だ。あらためて思った。





# ぎふ木遊館通信



毎日たくさん子どもたちが訪れるぎふ木遊館では、日ごろの感謝を込めて、端午の節句（こどもの日）にちなんだギャラリー企画展や木育ひろばでの遊びを行いました。

## 郡上市展で、今年も郡上本染の鯉のぼりが泳ぎました！

4月11日から5月16日まで、ギャラリー企画展「郡上市展」を開催しました。

郡上市では、新生児に市内産の木のおもちゃをプレゼントする事業を実施しており、その対象の9種類のおもちゃを展示して来館者に触れてもらいました。色鮮やかなもの、音のなるもの、動くものなどさまざまなおもちゃを楽しんでいただきました。

また、市の重要無形文化財に指定されている「郡上本染」の展示（協力：郡上本染渡辺染物店）により「ジャパンブルー」と評される藍色が館内を彩りました。木育ひろばの天井には、郡上の冬の風物詩、清流吉田川での寒ざらして色鮮やかに仕立てられた郡上本染の鯉のぼりが設置され、来館する子どもたちの端午の節句をお祝いしました。



## <今後のギャラリー企画展の予定>

6月7日～7月7日 ヒノキとお茶の香る町 白川町展

7月20日～7月28日 世界農業遺産「清流長良川の鮎」パネル展

7月30日～8月5日 TASCぎふ×ぎふ木遊館「みんなのもくもく作品展」

ギャラリーの見学のみであれば、事前予約不要・入館料無料です。

## 木育ひろばのこどもの日♪

木育ひろばでは、窓ガラスに描かれた鯉のぼりの色塗りをする「さとやまさんと遊ぼう」が開催されました。また、子どもたちに大人気の「ままごとキッチン」に並ぶ食べ物のおもちゃが柏餅やお寿司などお祝いらしいメニューになったりと、こどもの日らしい楽しい雰囲気になりました。





やがてみんなの森になる

# morinos

## プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

### <Gaye Amusに学ぶ 森のようちえん指導者研修>

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。今回ご紹介するのは、募集開始とともに定員を超え、当初1回の予定を2回に増やしての開催となったフィンランドの環境教育指導者&トレーナーのGaye Amusさんによる森のようちえん指導者研修です。

1回目は1日中雨の降る中、2回目は晴れたけど北風の寒い中での、まるでフィンランドのような環境での研修でした。2日とも同じプログラムの流れで実施したのですが、面白いことに集まるメンバーによって、それぞれ異なる深い気づきや学びが得られました。

午前中は、野外での実習。指導者の目線と、子どもの目線の両方を気にしながら、体験的に学びました。まずはオリエンテーションとアイスブレイクでスタート。隣の人の名前を呼び合ったり体を動かしたりするのは日本と同じです。けれど、そのあとに安全管理や全員の違いをチェックするところや、社会的少数者や声の小さい人の意見をちゃんと拾えるチームであることを大切にすること、NVC(非暴力コミュニケーション)といった、お互いのニーズが満たされるまで話し合いを続けることを大切にすることなど日本とは違うところも多々見受けられました。



ティビィの中で自己紹介

その後は歌を歌ってから森に入り、歩きながら研修仲間とお題をきっかけに対話したり、視点の違いを共有しあったりしました。また、リスクマネジメントをさりげなく楽しいゲーム的な感覚で行う手法や、粘土で想像力と創造力を掻き立てるプログラムを体験するほかにも、自由な遊び時間もあり、大人と子どもの目線を行き来しながら、体験的に指導者として必要な視点を学びました。

午後は、室内で「なぜ野外で子どもたちの教育をする必要があるのか」について、海外の研究者たちのエビデンス（根拠）を紹介してもらったり、Gayeさんが働いていた森のようちえんの1日や、ヨーロッパ中の森のようちえんの様子を写真や動画で紹介してもらったりしました。



見つけた自然物を見せ合う

最後はリスクマネジメントについての小グループワークをして、その後1日の学びを振り返りました。

通常は2日間かけて行う研修を1日に絞って実施したため、かなり濃密でハードな1日となりました。しかし、普段は聞くことができない、フィンランドの環境教育指導者&トレーナーの話聞いたことは、参加者の方々にとって良い刺激となったのではないのでしょうか。参加者のみなさんが、今回の経験を今後の活動に活かしてくださることを願っています。



自然の中での危険を書き出す

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube  
「morinosチャンネル」

## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

## 森林空間活用促進事業 ～森林空間を活用した活動の普及促進～

### 【背景】

都市住民の健康志向の高まりなどから、都市型（室内）の活動が見直され、自然を活かした野外活動、サテライトオフィス、移住定住等が注目されています。

そのため、豊かな価値を有する森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用することで、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す、「森林サービス産業」の育成に取り組んでいます。

### 【事業概要】

森林空間の活用を促進するため、森林サービス産業の推進母体となる「ぎふ森のある暮らし推進協議会」と連携し、交流会やセミナー等を行います。

### 【取組状況】（令和5年度実績）

森林サービス産業の普及促進を図るため、「ぎふ森のある暮らし推進協議会」との共催で、「森林サービス産業推進特別セミナー」を県庁ミナモホールにおいて令和6年1月に開催しました。現在、森林サービス産業に取り組んでいる事業者や、興味・関心のある県民など、300名以上の参加がありました。

基調講演として、林野庁長官の青山豊久氏を講師にお招きし、「森林・林業における新たな価値創造の方向」をテーマに、これまでの日本の林業の歴史や、森林サービス産業、J-クレジットの創出、非住宅の建築物への国産材の活用といった森林が生み出す新たな価値についてご講演いただきました。

「ぎふ森のある暮らし推進協議会」からは、会の取組み紹介や、株式会社山共、株式会社長瀬土建、揖斐川町の3者の会員による森林サービス産業の取組事例発表がありました。

それぞれの発表に多くの質問があり、森林サービス産業への関心の高さが窺えました。

参加者へのアンケートでは、「時代とともに森林に求められるものが変わってきているため、多様な活用の仕方を考えていかなければならないと感じた。」「岐阜県の山林を様々な形で活用している事を知ることができた。森林を利用する産業は、近くに大都市圏を持つ岐阜県にとって、有力であると再確認できた。」などの感想をいただきました。



森林サービス産業推進特別セミナーの開催状況

「豊かな森」って、どんな森？

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 小林 謙一



は国の「デジタル田園都市国家構想」に基づき設定されたもので、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-Being)」を指標で数値化・可視化したものです。

「令和5年度 全国調査結果 (※)」によると、「自然環境の因子と幸福度との相関は低い」ことが示され、自然の恵みが生活満足度に必ずしもつながるものではないという傾向もみられました。私としては森が身近にあることが幸福につながると思っていました。こちらも、「森」が現代人の幸福度や生活満足度に直接関わっていないことを示唆していました。

● 生物多様性から見る森の豊かさ

思考を巡らせていた折、郡上市で行われた生物多様性ネイチャーガイドの坂田昌子さんのトークイベント (主催 (一社) 長良川カンパニー) に参加させてもらう機会がありました。

「生物多様性とは、単にいろいろな生き物がたくさんいることだと思っている人が多いのですが、さまざまな生き物同士の関係が複雑に絡み合っていることを指します。関係が複雑であればあるほど、その生態系は壊れにくいんです」

生物多様性を支える上で重要だとされている自然環境のひとつに「里山」が挙げられます。里山は人の暮らしの営みを中心に、田畑から草地、森林へとつながる自然環境です。長い年月をかけて育まれた里山

では、植物、動物、昆虫など多様な生物が人々の生活サイクルに適応し、まさに複雑に関係しあいながら共存してきました。人々は、木の実やきのこ、山菜を採り、木材は薪、炭にして活用してきました。豊かな水も大切な恵みであり、身近なものでも含めてたくさんさんの生き物や植物が複雑に関係し合うこの自然環境は、豊かさを実感できるものであったと思います。

しかし、昭和30年代の燃料革命以降、里山の生活は大きく変わりました。日々使われてきた広葉樹林は建築材料用の針葉樹の人工林に代わり、人々が日常的に森に足を運ぶ機会が減りました。山菜採りに山へも出かけていた世代は高齢化し、その子もたちや孫たちはほとんど森に足を踏み入れる機会がありません。山水ではなく水道の蛇口から水をいただく現代の生活では、里山でも森林との関連性は薄れ、その豊かさを実感しにくくなっています。

身近な森林の魅力を感じるには、まず関わりを持つことが第一歩です。森林との関わりが生まれると「愛着」が芽生え、行動につながっていきます。観光やレジャーに留まらず、日常生活を通じて森と関わることで、特に森林に囲まれた中山間地域で人々が暮らし続けるためには、人と森とのつながりを再構築し、地域住民が森との接点を持つ日常的な機会づくりが求められていると強く感じました。

イベントの翌日、坂田さんから里山の

技術「しがらづくり」を覚えてもらいました。表面が水が走る《水みち》に、枝でしっかりと組んだ「しがら」をつくらせて落ち葉を詰めることで、水をゆっくりと浸透させ土壌流出を防ぐ知恵です。ノコギリや剪定バサミなど、誰でも容易に手に入る道具を使い、女性や子どもも森の手入れに参加しました。参加者の一人は「枝を編んでいく作業が楽しい」と黙々と作業に没頭していました。

「しがら」は、かつての里山で日常的に行われていた、身近な資源で行える森の整備なのだ。坂田さんは教えてくれました。里山に暮らし人々は、しがらや石積みなど、小さな修繕作業を適宜行い、脈々と紡いで風景を守ってきました。森との関わりが生活の一部となることで、森への愛着は深まり、人々は自分自身も生態系の一員であるという感覚を深めていったことでしょう。

先のデータの結果のように、自然との関わりやつながりが希薄であれば、不便さだけが目につくかもしれません。我が家では風が吹いた時、森一面に落ちる杉葉を拾い、薪ストーブの着火剤にしています。ありがたいと感じる（つながり）の中に自分が存在していると実感できるとき、私は幸せを感じています。日々の暮らしに関わる身近な森こそが、私にとって「豊かな森」と呼べる大切な場所なのだ。と改めて気づくことができました。



森の中で「しがら」を編む

山間地域のある小学校から「身近な森林の魅力を生徒に伝えたい」という相談を受けました。学校のすぐ近くの森林は子どもたちのお祖父さんやひいお祖父さんたちが植えたスギやヒノキの人工林です。「森の豊かさ」を伝えようと思っていると、都市部から移住した方からは「この辺りの森林は、同じ種類の木ばかりで豊かだと感じられない」という感想を聞きました。この方が思い描く豊かな森は、木の実やキノコ、かご編みに使うツルなどが採取できるところのようです。私自身、中山間地に暮らし、田畑をやらせてもらってはいますが、森林というと薪ストーブで木を使うこと以外にはあまり接点がありません。そこで、自分にとっての「豊かな森」について、改めて考えを巡らせました。

● 森から切り離された現代

移住専門誌「田舎暮らしの本」では毎年「全国住みたい田舎ランキング」を発表しています。このランキングは278項目のアンケートをもとに集計されていますが、「森」についての項目はなく、つながりそうなものとしては「自然公園がある」「里山の保全に力を入れている」など数項目でした。都市部の人々が住んでみたい田舎のなかで、森の豊かさは重要なキーワードではありませんでした。

次に、「地域幸福度指標 (LWC指標)」の調査結果を見てみます。この指標

(※) デジタル庁の委託事業において (一社) スマートシティ・インスティテュートが作成 (2023年7月)

## 大垣市立ひまわり学園

大垣市小野2丁目27番地



施設全景

## ● 施設の概要

事業年度	令和4年度～令和5年度
事業主体	大垣市
構造 延床面積	木造 平屋建 1,276.1m <sup>2</sup>
施設用途	障害児通所支援施設
木材使用量 使用樹種	217.1m <sup>3</sup> スギ、ヒノキ
全体事業費	408,100千円
助成額	20,298千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	株式会社福永建築事務所
施工業者	岐建株式会社
工期	令和4年10月25日～令和6年2月29日



## 施設の経緯

大垣市立ひまわり学園は、昭和47年に開設した重度肢体不自由児の通園施設です。今回、建物の老朽化に伴い、県産材のスギやヒノキをふんだんに使用した施設を建築し、令和6年4月に移転しました。

木のぬくもりがある空間は、居心地がよく安心して利用できる施設となりました

## プレイルーム



集団指導室

## ここに注目!!

内装材や床材に木材を使用しているため、療育フロア（集団指導室、プレイルーム）は、木の香りや温もりを感じ、快適に利用できる空間となりました。

## 利用者の様子

療育に通う児童たちは、木造化した温かみを感じられる施設により、笑顔があふれています。

■問い合わせ先  
大垣市立ひまわり学園  
TEL 0584-78-2498

## シイタケ発生への気温上昇の影響を理解して栽培管理に役立てる

森林研究所 ● 上辻久敏

### はじめに

近年全国的に気温が上昇し、岐阜県でも40℃を超える気温が観測され、様々な農作物への影響が危惧されています。

岐阜県のキノコ主要品目であるシイタケは、外気温の影響を受けやすいビニールハウスで栽培されており、その多くは冬場の暖房はあるものの、夏場の冷房がない施設が大半を占めます。

このような状況下、夏場の気温上昇が原因と考えられるシイタケの発生低下トラブルが起きています。

現状では夏場の栽培管理方法が確立されておらず、対策は各生産者の経験任せとなっています。生産者からは、トラブルの原因究明と有効な対策が求められています。

### 夏場の温度上昇がシイタケの発生に与える影響

夏場の栽培トラブルの原因が温度上昇と仮定し、培養後期の除袋前の菌床を用いて、人工的に暴露温度を変化さ

せ発生への影響を試験しています。除袋直前の菌床に対して暴露温度は3℃間隔で36℃まで、暴露時間を1日、3日および5日に設定しシイタケ発生への影響を調査しました。

その結果、36℃で5日間暴露処理をした場合は、3品種中2品種は発生せず、残りの1品種も発生量が減少しました。

施設の高温状態が数日間継続される場合だけでなく、気温が高い日に生産施設の温度が一時的に36℃以上となる可能性もあります。

そこで、15分間の暴露時間で発生に影響する温度についても調査しました(図)。

除袋直後の菌床を用いて、21℃から61℃まで5℃間隔で温度を上昇させた結果、36℃までは、通常どおりシイタケが発生しました。しかし、41℃以上では、発生しなかつたまたは大きく減少することが分かりました。

### 現地の状況把握も進めています

実験施設での暴露試験と並行して赤

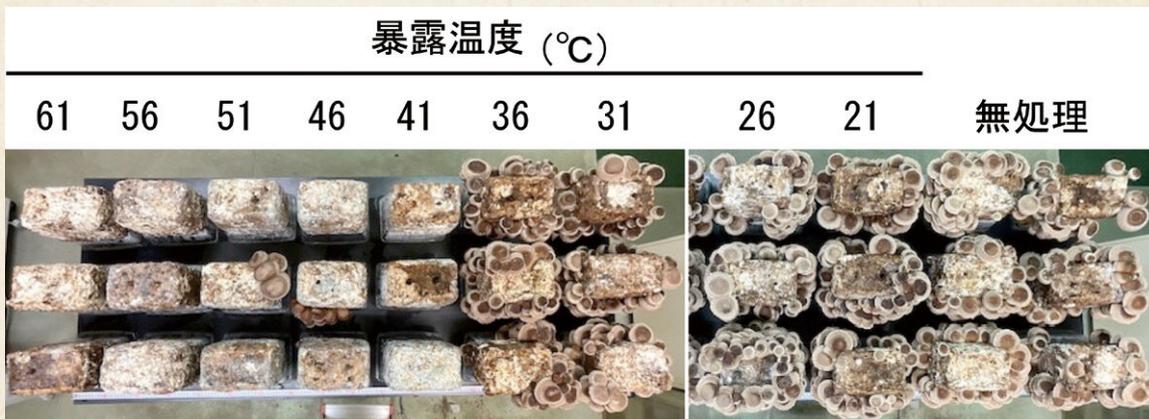


図 15分間の暴露処理温度によるシイタケ発生への影響

外線サーモグラフィカメラを用いた栽培施設全域の温度分布に関する調査も実施しています。栽培施設内の温度は一定ではなく、温度が上昇しやすい場所が存在しています。

栽培棚の最上段やハウスの側壁近辺等の条件が重なる部分的に41℃に到達する可能性があると考えられます。

短時間では発生に影響しない36℃でも5日間暴露処理した場合は、シイタケ品種によって発生が減少または、停止したことから、温度とその暴露時間の組合せが発生量を決める重要な因子であると考えられます。さらに、41℃以上では、短時間でも菌床が暴露されると発生に致命的な影響を受ける品種があることが示されました。

### 最後に

試験では、5℃間隔で暴露温度を変化させましたので、36℃から41℃の間にも短時間に大きな影響を受ける温度が存在する可能性があります。

シイタケの温度と時間の影響を科学的に把握し、実際の栽培施設内の温度を効率的に管理するため、生産者と連携しながら散水方法や、遮光等の対策を含めた管理技術を提案し収益向上に貢献していきたいと考えています。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-210805

森林研究所まで



# 飛騨市特定間伐等促進計画の策定について

■飛騨農林事務所  
林業普及指導員

田口 正英



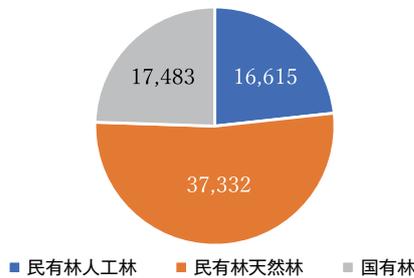
## 経緯 現状

### ・飛騨市の森林構成

飛騨市は、岐阜県の最北端に位置し、通称北アルプスと呼ばれる飛騨山脈の豊かな水と広大な緑に囲まれた、標高200〜2,800mの美しい自然環境に恵まれた地域です。

総面積は79,253haで、約93・7%にあたる74,286haを森林が占めています。内訳は国有林面積が17,483ha、民有林面積が56,803haとなっています。民有林の内、スギを主とした人工林の面積は16,615haであり、人工林率は29・3%と岐阜県の平均(45・2%)を大きく下回っています。一方で、ナラ・ブナ等の広葉樹を主とした天然林の面積は37,332

飛騨市の森林面積 (ha)  
国有林、民有林 (人工林、天然林)



haと、民有林の約7割を占めていることが特徴です。

### ・森林経営計画の実施状況等

これまで飛騨市内で策定された森林経営計画の団地数は43団地であり、森林経営委託を受けた面積は約8,873ha(民有林面積の15・6%)となっています。

飛騨市の森林は天然林の割合が高いうえに、森林簿上では人工林となつていても、実際には天然林化している箇所も多数あり、林班単位での森林経営計画の策定が効率的でない場合も出てきました。さらに、森林整備の実施にあたっては、隣接する複数の森林所有者が所有する森林を取りまとめて、一体的に施業を実施する「施業の集約化」を進め、効率的に森林整備を行うのが基本ですが、民有林の森林所有者の住所が飛騨市外(不在者)である割合が約32%もあるため、団地の半数以上の所有者から施業実施の同意を取得することが、困難になりつつあります。

### ・飛騨市森林集約化推進協議会

飛騨市では、平成26年度より「飛騨市森林集約化推進協議会(以下、「集約化協議会」)を設立し、森林情報・森林所有者情報の収集、森林整備の意向確認、集約化の説明会、事業承諾等を行い、効率的に集約化を進め森林経営計画の策定へと繋げるという全国的にみても先進的な取り組みをしています。

これまでに、13団地の森林の集約が行われており、いまや集約化協議

会は飛騨市の森林整備を進めるうえで欠かすことのできない存在となっています。

令和5年度からは、これまでになかった取り組みとして、地籍調査が未整備である地域においてモデル地区を設定して境界明確化事業を始め、森林の集約化に取り組んでおり、今後の飛騨市の森林整備がさらに進むことが期待されています。

## 課題と対策

木材生産に適した森林については事業者が森林経営計画に基づいて森林整備を行い、木材生産には不適であるが森林の公益的機能の役割が大きい奥山等については集約化協議会が集約化を取り組むなかで、林班単位での森林経営計画の策定には限界があることもわかってきました。そこで飛騨市では、特定間伐等促進計画を作成する方針となりました。

特定間伐等促進計画は、京都議定書の第一約束期間における森林吸収量の目標の達成に向け、森林の間伐等の実施を促進するため、特別の措置を講ずることを内容として、平成20年5月16日に新法として公布・施行された「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」に基づいています。本法に基づき、県が令和12年度末までの「特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針(以下、「基本方針」)を定め、この基本方針の策定により、市町村は基本方針に即した「特定間伐等促

進計画」を作成できません。

特定間伐等促進計画は、飛騨市が小班ごとに間伐計画を作成するため、団地としてまとまらない小規模な森林であっても、森林経営計画と同様の補助率で森林整備事業を実施することができません。これにより、林班の半分の森林所有者の同意が必要であった森林経営計画に比べ、より迅速に森林整備を推進することができます。

### 計画策定の進め方について

特定間伐等促進計画の計画期間は令和6年度から令和12年度となります。飛騨市の場合は、森林整備事業のほとんどを飛騨市森林組合(以下、「組合」)が担っているため、組合がまとめる組合員からの要望状況及び森林状況を鑑みて、早期に手入れが必要な森林から間伐計画に盛り込むよう指導しました。

また、組合が森林所有者に対して働きかけを行うにあたっては、将来



的に森林経営計画を樹立するようになった場合は、理解及び協力を求めるよう指導しました。

### 取り組みの中で感じたこと

今回の飛騨市特定間伐等促進計画の策定にあたり、組合職員が森林調査のため、間伐予定地の選定のため数日間出入りしていたようです。その時に、「うちの山もやってくれんか」と地域の方から声を掛けられ、芋づる式に間伐計画が広がっていった箇所がありました。集約化ができていないため森林整備が先送りとなっていた森林であっても、行動をおこしたことが森林整備の推進につながったよい例であったと思います。

小規模・分散化している施業地を森林経営計画により団地化して、効率的に森林整備を行うのが森林整備事業の基本ですが、天然林が多く、まとまった人工林が少ない地域でも採算が見込める森林については、特定間伐等促進計画に基づいて森林整備を推進することができることはとても効果的であると感じました。山が活性化するためには、森林所有者が山に対して興味を持ち、森林整備に意欲が湧くことが不可欠であるため、行政による森林整備が進む体制づくりを構築することが大切であると考えます。そのための支援ができるよう普及指導員として活動していきたいと思っています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-333-1111

飛騨農林事務所まで

## スマート林業通信 ④

### 油圧集材機・架線式グラップルシステムの検証

2022年9月号で「油圧集材機・架線式グラップルシステム」

について紹介したのを読んでいただきましたが、張り上げたワイヤロープからグラップルを吊り下げて、リモコン操作で材木を掴んで集めるという、架線集材の新技術です。昨年7月、郡上市内での見学会を開催し、多くの関係者にご覧いただきました。

見学会は2日間だけでしたが、集材作業は11月末まで行われ、検証を行いました。その結果分かったことを簡単に整理してみます。

#### ■メリット

- ・荷掛け手の安全性が大幅に向上。体への負担も軽くなる。
- ・荷掛け手1人、荷外し造材1人の計2人で集材作業ができる。
- ・うまくいけば荷掛け時間を短縮できる。
- ・荷外しは数秒でできる。

#### ■デメリット

- ・グラップル重量が500kgあり、その分最大使用荷重が減少する。
- ・複数本を同時に掴むのが難しい。
- ・導入コストが大きい。

場合によっては、全木で効率よく集材するために、より太いワイヤロープを選んで最大使用荷重を増やしたり、軽い材木の多い林分ではグラップルを外してスリングで2本掛けにするなどの工夫が有効です。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-351-2535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



# 温帯域の高標高における コウヨウザンの成長速度と 生育適地の把握について

全国的に人工林の齡級構成が高くなってきており、主伐再造林が増加していく中、地球温暖化対策の吸収源としても短伐期で利用が見込める早生樹が注目されており、その一つにコウヨウザン（広葉杉）があげられます。

コウヨウザンは、中国、台湾に分布する常緑高木のヒノキ科の針葉樹であり、生育に適した場所では、スギの約2倍の材積成長があり、材の強度は壮齡林ではヒノキ並み、若齡林ではスギ並みと言われています。

コウヨウザンは、暖温帯域が植栽適地と言われており、岐阜県では標高400m以下の南部の平野部が適地にあたります。しかし、近年の温暖化により植栽適地が拡大している可能性もあること、また、植栽適地ボーダー域の成長デー

タが少ないことから、それらを検証する必要があります。

そこで、ボーダー域である岐阜県の温帯高標高域での生育適地を把握するため、令和4年度から令和9年度まで森林総合研究所林木育種センター、岐阜県森林研究所と共同研究を行っています。

試験地は、下呂市の標高500m、750m、1000mに位置する国有林3箇所に設定し、令和4年5月にコウヨウザン・スギ（比較対象樹種）のコンテナ苗をそれぞれ200本ずつ植栽し、下刈は全区域で2年間実施しました。

なお、コウヨウザンはウサギの食害を受け易いため、ネット型の単木資材を施工しました。各試験地において成長量等を調査するとともに、気温、地温等気象条件の

調査を実施しました。

この2年間のコウヨウザンの成長量は、根元径・苗高ともに値の高い順に1000m、500m、750m試験地となっていました。

（図1）

スギの成長量についても、コウヨウザンと同じ傾向にありました。コウヨウザンの成長は、スギの1.4倍程度となりました。

各試験地の月平均気温及び最深積雪深は標高に準じて変化していましたが、地温では標高500m試験地が最も高かったものの、秋冬季節において標高750m試験地が1000m試験地より低く観察されました。これは、750mの試験地が谷筋に位置していることで日照時間が短く、谷風により低くなったと考えられました。



植樹時のコウヨウザン

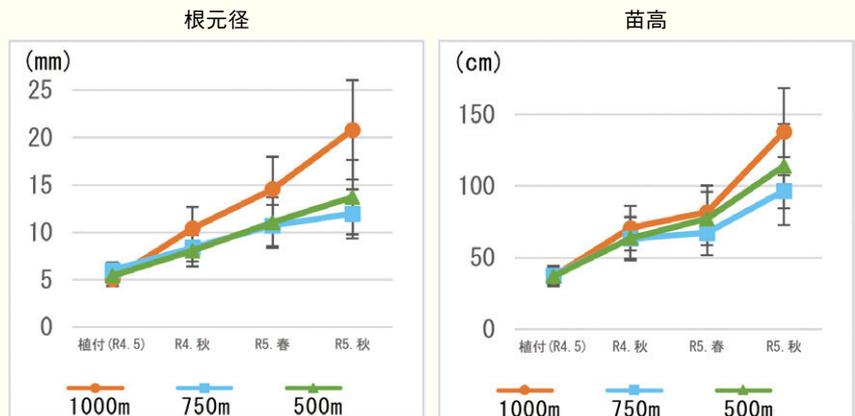


図1 コウヨウザンの成長量の推移

標高1000m試験地のコウヨウザンの成長量が最も良好であり、成長が標高順になっていないことは、気温等の気候条件だけでなく、他の要因が成長に影響していると考えられます。今後とも継続してコウヨウザンの成長条件を調査する予定です。

（森林技術・支援センター）

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
6月12日(水)~ 6月14日(金)	伐木等の業務(チェーンソー)に係る特別教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：12日 学科 8:50~17:10 13日 学・実 8:50~12:00 14日 実技 8:30~17:40</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：23,870円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	12日(学科) 13日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 14日(実技) (株)木の国 土場(山県市椎倉 203-1) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月18日(火)~ 6月19日(水)	走行集材機械の運転業務特別教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：18日 9:00~16:00 学科 19日 9:00~16:00 実技</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：46,200円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)(学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が10名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)</li> </ul>	18日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東 2-5-6) 19日(実技) 関市地内山林(予定) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月27日(木)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：11,550円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東 2-5-6) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月2日(火)~ 7月5日(金)	フォークリフト運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：1日目 学科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30</li> <li>● 申込：開催日の20日前まで</li> <li>● 受講料：32,450円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：20名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 850-67) (実技) ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月9日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30</li> <li>● 申込：開催日の10日前まで</li> <li>● 受講料：11,550円(本代含む)(振込み)</li> <li>● 定員：50名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	恵那建設会館(恵那市大井町 2087-276) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

先日、都会に住んでいる友人が泊まりに来てくれました。朝、友人はいつもと違う音で目が覚めました。

友人宅では普段、朝から車や電車の騒音が鳴り響いていて、その音で起きるのですが、今日は「チュンチュン」という鳥たちのさえずりで目覚めました。

都会では自然の音や動物の鳴き声が背景に埋もれてしまうことが多いです。しかし、田舎ではそれが主役となり、朝の静けさの中で美しいメロディーとして奏でてくれます。

他にも雨音や風の音、蛙の大合唱など、静かな田舎だからこそ感じる音を堪能して自然との再接触を楽しんでくれていました。

都会の喧騒に疲れた心が癒され、自然の美しさを感じることができたのではないかと思います。

また疲れた時は、自然豊かな岐阜に遊びに来てくれたらと思っています。

「森林のたより編集委員」 小川 友梨

イベント情報

7月1日発行

連載

- 山の歳時記(227)
- 山のおじゃまむし(396)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(138)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(136)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

7月号  
予定

## 木材市場

### 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1854回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→	
		4 m	16~18cm	14,000	—	→	
			20~22cm	15,000	—	→	
			24~28cm	15,000	—	→	
			30cm以上	13,000	26,000	→	
	6 m	16~20cm	18,000	—	→		
	5月14日	ひのき	3 m	16~18cm	21,100	—	→
			20cm以上	19,000	20,500	→	
		4 m	16~22cm	21,000	—	→	
			24~28cm	19,200	—	→	
30cm以上			18,900	41,300	→		
6 m	16~18cm	—	—	→			
第1444回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,500	—	→	
		4 m	24~28cm	14,800	—	→	
			30cm以上	12,000	14,700	→	
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	→	
		4 m	20~22cm	20,300	—	→	
			24~28cm	19,100	—	→	
			30cm以上	19,000	138,000	→	
		6 m	16~20cm	25,000	—	→	
	5月15日	ひめこ	4 m	24~28cm	15,000	—	↘
			30~38cm	20,000	34,200	↘	
40cm以上			—	43,600	→		
くり		4 m	24cm以上	15,000	45,000	→	
第1778回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,300	—	→	
		4 m	24~28cm	14,800	—	→	
			30cm以上元	15,000	21,000	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	20,500	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	40,000	→	
		4 m	13cm以下	10,000	—	→	
			24~28cm	19,300	—	→	
			30cm以上元	26,000	54,000	→	
	5月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→
30cm以上元			11,000	—	→		

\*単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

### 【商況】

スギ4m元木、尺上良材は入札旺盛で価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は保合。ヒノキ3m・4mの構造材についても価格は保合で推移。合板向けは、住宅着工などの伸び悩みにより製品の荷動きが鈍く弱基調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギやヒノキ並材は横ばいで推移。ヒノキ良材は全体的に応札旺盛で特にヒノキ30cm以上が人気。広葉樹はどの樹種も依然として引き合いが強く特にサクラ、クリ、ナラに人気が集まった。高値はヒノキ4m×54cm@138,000円、ヒノキ2m×48cm@76,700円、ヒメコ5m×44cm@43,600円、ヒメコ4m×42cm@34,200円、ヒメコ3m×46cm@34,800円、サワラ4m×48cm@38,100円、クリ4m×42cm@45,000円、ホウ2.1m×36cm@33,300円、サクラ2.1m×32cm@38,400円。(飛騨)

ヒノキ役物良材には応札多数で活気あり。大径材は5m・6m造材の需要も強く予定される方はご検討下さい。3m柱向け(14cm~26cm)価格は保合ながら、手堅い売れ行き。4m中目、土台向けは、引き合いはあるが保合。スギ中目、尺上、元木良材は、価格保合で推移。目荒等並材は価格伸び悩み売りづらさが残る。4m(24cm以上)構造材も保合で推移。3m構造材向けも保合継続。スギ6m長柱向け(18cm~22cm)は各方面から要望があり造材をご検討下さい。合板向けは、住宅着工の伸び悩みにより製品荷動きが鈍く弱基調。ラミナ向けは、スギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (4月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	69,000	( 2,282)	↓
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	( 662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	79,000	( 3,484)	↓
	柱	3000	120	120	特等	74,000	( 3,197)	↓
		6000	120	120	特等	150,000	( 12,960)	→
W ウ ッ ド 材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	( 3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	( 4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (4月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	435	→
米栂	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

### さんぎ 棧木

これってなあに? ~ 木材用語 ~

棧は断面の狭い横木の総称で、建具の帯棧、木材製品を積み上げる際に挟む棧積みなどでも用いられる。また、コンクリート型枠において合板等の裏側に添え木として接合し、パネル化する際にも用いられる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典